

最古級の日本地図を確認しました！



くさどつぎー

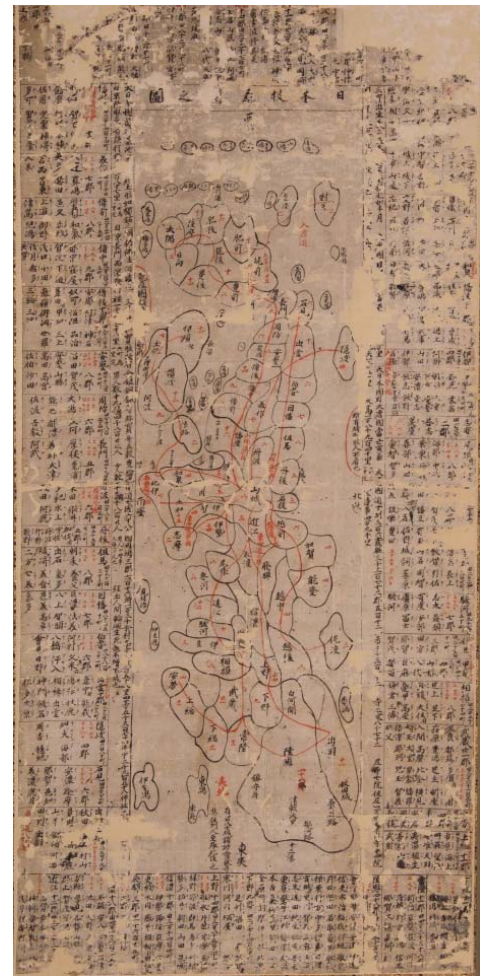
当館追加寄託の「^{もりやひさし}守屋 壽コレクション」の中に、「行基図」と呼ばれる、室町時代にさかのぼる最古級の地図の存在が判明。
6月15日に報道機関に公開します。



せんちゃん

1 地図の概要

- (1) 名称 『日本扶桑国之図』(にほん・ふそうこく・の・ず)
- (2) 大きさ 縦 122cm×横 57cm (本紙)
- (3) 素材 紙本(和紙)
- (4) 時代 筆写年代の下限は室町時代と推定される
・記載内容、紙の特徴などから推定
- (5) 特徴
 - 日本図全体が残る最古の事例と推定される
 - 室町時代前期頃の地図情報を記載している
鎌倉時代の特徴…「龍及(りゅうきゆう)国」
室町時代の特徴…港町の地名が多く記載される



「日本扶桑国之図」(手書, 室町時代)

<「行基図」の類例>

資料名	年代	備考
仁和寺所蔵日本図	1305年写	最古の日本図, 西日本欠
金沢文庫所蔵日本図	14世紀初頭	「龍及国」記載, 東日本欠
本資料	14世紀中頃	日本図全体が残る
『拾芥抄』所蔵日本図 <small>しゅうがいしょう</small>	14世紀後半~15世紀, 1548年写	日本図全体が残る
唐招提寺所蔵「南瞻部洲大日本国正統図」 <small>なんせんぶしゅう</small>	16世紀半ば	図の形式が本資料と最も類似

2 報道向け内見会

- (1) 日時 平成30年6月15日(金) 午前10時から
- (2) 場所 ふくやま草戸千軒ミュージアム 企画展示室
(県立歴史博物館, 福山市西町2-4-1)

3 今後の一般公開予定

今回の追加寄託を記念して、今夏に当館で開催する企画展で公開します。

【担当】ふくやま草戸千軒ミュージアム(県立歴史博物館)
学芸課長
(電話) 084-931-2513
(e-mail) rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp

「行基図」

- 奈良時代の高僧行基作成と伝える中世以前の日本図の総称
- 日本 66~68 国を丸みを帯びた形で描き, 山城国を起点に七道を記す
- 記載内容で複数の系統に分かれる

《守屋壽コレクションとは》

- 福山市出身で東京在住の守屋壽氏が収集した国内外の古地図を核とする近世の歴史資料群
- 古地図の個人コレクションとしては日本最大